

## 2 幼児期の学校教育・保育

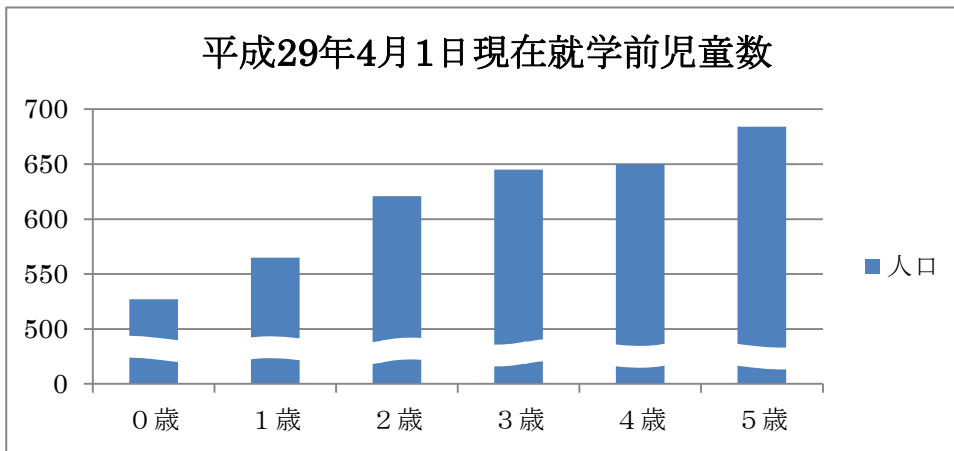
## (3) 需要量の見込み

## ■教育・保育のニーズ量見込み

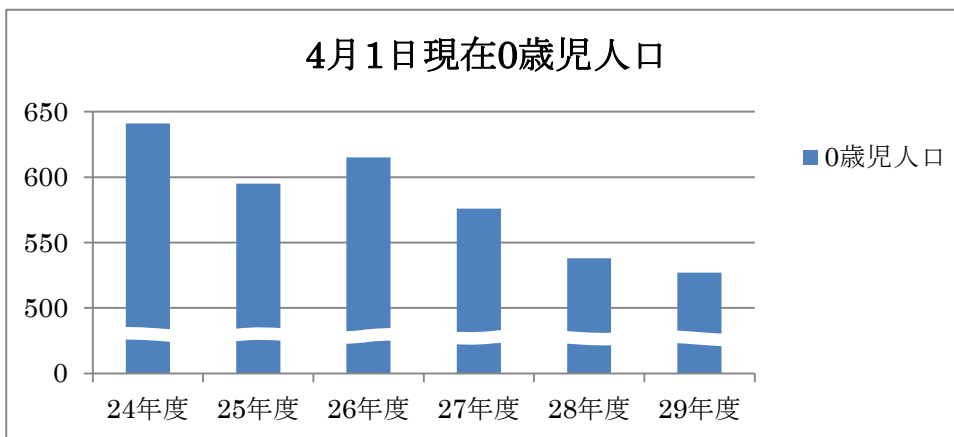
3号認定の表中0歳児について見直しをしない理由

- ・見直しの内容が、需要量の下振れであること
- ・平成29年4月1日時点の実績において、供給不足が生じていないことから数値上は対策を講じる必要が無いこと

【参考】現在の乳幼児の年齢別人口は、年齢が下がるにつれ平均31人ずつ減少している



平成29年4月1日	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
人口	527	565	621	645	650	684



4月1日現在	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
0歳児人口	641	595	615	576	538	527